

北名古屋市市民協働推進事業補助金採択事業自己評価シート

事業名 アザレアコンサート

団体名 北名古屋市知的障害者育成会

項目	着目点	自己評価	自己評価コメント
公益性 公共性	・事業の紹介を積極的に行い、市民に開かれた事業でしたか	◎	公共団体などへ、チラシやポスターの呼びかけをした。ボランティア団体や、市民の方に、協力依頼をし、多くの方が一緒になって事業に取り組みえたと思う。
	・事業を実施することにより、不特定多数の市民の利益増進につながりましたか	◎	協力券を買い求めてくださった市民の方々は、遠くまで足を運ぶことなく、地元でのコンサートを楽しんでいただけたと思う。
	・事業を通じて市民の理解や参加、協力が得られましたか	◎	今回地域の師勝少年少女合唱団に出演いただいたことで、アットホームで和やかにコンサートを楽しんで頂けたと思います。そして障害者に対しての理解をしていただいた上での、参加や協力が得られたと思う。
実現性 計画性	・当初の事業計画、予算計画は適切でしたか	◎	事業計画は事業開催までに綿密な打ち合わせができたと思う。予算計画については、適切であったと思う。
	・事業を確実に実施するために適切な体制でしたか	◎	運営をするための実行委員会を開催して体制を整えた。特に会場内での非常事態（地震等）には運営に関わった一人ひとりが認識をし共有した。
先駆性 協働性	・新たな成果や仕組みを生み出すなどの波及効果がありましたか	◎	コンサートをご覧いただいた方から、次回の出演者の紹介を受けたり、共同でやってみたいという意見があり、成果があったと思う。
	・他団体とうまく協働し、事業を進めることができましたか	◎	ボランティア団体との協働で、事業を進めることができた。また、地域で活動しておられる技術者の音響や、他団体の照明の方々に協力を得、綿密に打ち合わせをすることができた。地域の合唱団と、プロとして活躍されている出演者との、打ち合わせ等、うまく協働することが出来たと思う。
	・行政や団体が単独で行うより、効果をあげることができましたか	◎	障害者の親たちの切実な願いをご理解頂けることの効果を上げることができたと思う。障害のある方々もステージに上がって理解をしてもらえる努力をした。
継続性 自立性	・事業を継続するための計画、工夫、協力体制ができていますか	◎	今回で17回目の事業なので計画、協力体制はできていると思う。事業がマンネリ化にならないように工夫をできたと思う。愛知県だけでなく幅広く活躍している方が理解し協力してもらえた。
	・自己資金の確保に努めていますか	◎	自己資金の確保に努めていると思う。
事業効果 有効性	・費用対効果を考え、経費削減などの工夫をしましたか	◎	チラシ、ポスターは自ら作成と印刷をし、できる限りの経費削減をした。また、業者の方から不要になった色紙を寄付してもらえた。
	・当初の目標、目的どおりの成果が得られましたか	◎	多くの方が協力券を購入してコンサートに来て下さったことは障がい者のことをより多くの方に理解してもらえたことと思う。

自己評価：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全然できなかった ーわからない 又は該当しない